

令和4年度

第71回大垣市美術展

青年の部

絵画・彫塑工芸・デザイン・写真・書道

と き 令和4年11月5日(土)~13日(日) 午前9時~午後5時
 ※休館日：11月8日(火)

ところ 大垣市スイトピアセンター 展示室4-A (文化会館4階)

主 催 大垣市・大垣市教育委員会
 後 援 大垣市文化連盟・大垣美術家協会
 運 営 大垣市美術展運営委員会
 公益財団法人大垣市文化事業団



◆ 絵 画

1 市展賞	c i r c u s	白川雛
2 優秀賞	ゆらぎを閉じ込める	長谷川愛
3 奨励賞	斜 陽	掛水咲妃
4 奨励賞	威 風	安立若菜
5 入選	机 の 上	錦野佑里菜
6 入選	戸田氏鉄公騎馬像	志知正基
7 入選	描 け な い	松原愛華
8 入選	港 町 の 猫 男 爵	村中望桜
9 入選	通 学 路	中村実徳
10 入選	ろ う か の 風 景	朝倉蔵人
11 入選	教 室 の 窓	廣井星哉
12 入選	足 音	安立さえ
13 入選	見 上 げ る 、 空 へ	清水悠加
14 入選	人 生 ゲ ー ム	阿部菜々
15 入選	波	法土亞里沙

16 入選	空 に 沈 め て	菊平優太
17 入選	会	松岡咲良
18 入選	私 の 青	渡邊真唯
19 入選	雨 宿 り	佐藤芹花
20 入選	ヴェネチアのバイオリン弾き	カシラハミタカ

◆ デザイン

1 市展賞	鏡 花 水 月	米田彩純
2 優秀賞	目 を 奪 う	吉田朱那
3 奨励賞	虚 構	三宅望生
4 入選	静 か な 路 地 裏	林咲良
5 入選	汚 染	渡部友翔
6 入選	T r i c k	森根はるか
7 入選	経験が自分を強くする。	森島千里
8 入選	帰 み ち	池井戸萌
9 入選	無 言	藤井天音

10	入選	歳	月	工藤 美玖
11	入選	明 日 へ の 道 標	島田 桃花	
12	入選	KEEP SUNDAY	法土亞里沙	

◆ 写 真

1	市展賞	見つめる先に…	藤田紗矢香
2	優秀賞	あの道の向こうへ	渡部藍世
3	優秀賞	夏 集 め	服部源己
4	優秀賞	ひまわり少女	金山ひな
5	奨励賞	波 動	傍 島 蓮
6	奨励賞	夕 暮	青木璃夏
7	奨励賞	R e l a x	日田千夜
8	奨励賞	新 生 児	馬渕真奈
9	奨励賞	かわいくない?	飯沼華子
10	奨励賞	幸せの象徴	松浪葵
11	入選	たそがれどき	豊田愛来
12	入選	アウトサイター	高橋加恋
13	入選	冬 栄	高橋麗音
14	入選	炎 の 華	河瀬智咲
15	入選	い ぬ	日田耕介
16	入選	煌 め き	多賀大起
17	入選	Y o u + 2 2 0 5	鹿野泰雅
18	入選	P a s s i o n	高田隼大
19	入選	n i g h t g a r d e n	竹中翔太郎
20	入選	明 日 の 希 望	若山加歩
21	入選	秋 の 訪 れ	棣原颯太
22	入選	r e f l e c t i o n	有末実央
23	入選	彼 岸 花	加納実呼
24	入選	秋 の じゅうたん	五井啓渉
25	入選	希 望	長澤文海
26	入選	夕 暮 れ	大橋歩実

27	入選	落 日 の 余 映	峰岸咲綺
28	入選	望 郷 の 詩	進藤勇志
29	入選	あしたてんきになあれ	松田瑚彩
30	入選	一 休 み	高木佑泰
31	入選	釣 瓶 落 と し	鷺見怜音
32	入選	希 望	松岡ほのか
33	入選	ほ え ? !	日比野莉奈
34	入選	一 瞬 の う ち に	徳永晶子
35	入選	花がお似合いの夫婦	東山桃子
36	入選	放 課 後	坂茉奈美
37	入選	私 の 進 む 道	河 合 凜
38	入選	か け つ こ	高橋美乃里
39	入選	清 ら か な 水	後藤梓沙
40	入選	大 漁 の 知 ら せ	高木梨帆
41	入選	快 晴 と 紅	浅野菜那
42	入選	休 憩	宇藤楓子
43	入選	夏 の 夕 空	栗本真実
44	入選	毛 繕 い	田中あみ
45	入選	源 泉	服部杏奈
46	入選	光 に 惹 か れ て	林 彩 菜
47	入選	イルカの鬼ごっこ	宇佐見友那
48	入選	夜 桜	川瀬里茉
49	入選	秋 の 一 時	塚原千晴

◆ 書 道

1	市展賞	臨 鄭 長 獻 造 像 記	高橋心優
2	優秀賞	楓 橋 夜 泊	大橋佑香
3	優秀賞	臨 雁 塔 聖 教 序	安藤沙也佳
4	優秀賞	臨 中 務 集	竹中花緋実
5	優秀賞	臨 元 永 本 古 今 集	渡辺萌
6	奨励賞	臨 哀 冊	大杉菜月

7	奨励賞	臨孔子廟堂碑	若園結衣	38	入選	臨王鐸豹奴帖	井上日菜
8	奨励賞	臨高野切第三種	吉田琴音	39	入選	臨蘭亭序	鈴木沙彩
9	奨励賞	臨王鐸草書臨閣帖	加藤望愛	40	入選	臨王鐸贈湯若望詩	桐山真緒
10	奨励賞	儲光羲詩	水谷綾乃	41	入選	臨王鐸五言律詩	森田沙希
11	奨励賞	韋應物詩	藤田和佑	42	入選	臨孫秋生造像記	岡村日陽里
12	奨励賞	陶淵明詩	野崎ひかる	43	入選	臨李太白仙詩卷	高橋彩乃
13	奨励賞	張羽詩	有馬奈菜	44	入選	王之渙詩	清水美那
14	入選	臨礼器碑	高木楓奈	45	入選	臨苕溪詩卷	近澤愛菜
15	入選	春風萬里	山田久美	46	入選	臨蘭亭序	青山紗弓
16	入選	臨祭姪文稿	堀内優妃	47	入選	臨集字聖教序	田中実優
17	入選	臨高野切第一種	川瀬朱莉	48	入選	劉禹錫詩	五十川陽菜多
18	入選	臨孟法師碑	安藤未紗	49	入選	花謝樹無影	瀬名波公理
19	入選	臨書譜	佐水野乃花	50	入選	雲開萬壑春	多賀美乃莉
20	入選	臨蘭亭序	兒玉はるな	51	入選	秋樹翻黃葉	新川陽菜
21	入選	臨蘭亭序	小林花楓	52	入選	崇徳院の歌	松永萌花
22	入選	臨九成宮醴泉銘	石原咲哉	53	入選	袁枚詩	小寺史恵
23	入選	臨孔子廟堂碑	藤井千花	54	入選	蘇頌詩	勝野瑞葉
24	入選	臨白樂天詩卷	高木恒紀	55	入選	王維詩	原田美琴
25	入選	隠岐倉印	関谷祐希	56	入選	黃州寒食詩	石田晴菜
26	入選	臨集王聖教序	鈴木万亜礼	57	入選	寂蓮法師の詩	竹中梨々
27	入選	臨董其昌邠風図誌卷	安藤真実	58	入選	川路柳虹の詩	宇野ひなた
28	入選	臨蘭亭序	鶴飼明日葉	59	入選	臨雁塔聖教序	坂北真愛
29	入選	百人一首	今津沙貴	60	入選	宋樂詩	栗田佳葉
30	入選	五首一紙	佐藤綾香	61	入選	薛濤詩	野田桃加
31	入選	百人一首	奥田杏菜	62	入選	臨孔子廟堂碑	大橋明音
32	入選	臨孟法師碑	服部綾音	63	入選	臨孟法師碑	矢野里沙
33	入選	臨孟法師碑	菱田いろは	64	入選	臨孟法師碑	山田貴仁
34	入選	臨九成宮醴泉銘	戸谷遙花	65	入選	風月相和寂寥	山田雄斗
35	入選	臨孔子廟堂碑	遠藤彩	66	入選	臨九成宮醴泉銘	林実南
36	入選	臨王鐸臨王羲之帖	水谷美彩	67	入選	臨九成宮醴泉銘	上野真麻
37	入選	臨松風閣誌卷	山元果歩	68	入選	臨九成宮醴泉銘	勝十葉

(掲載は受付順)

青年の部 審査講評

●絵画

市展賞の「circus」は正面からライオンを捉えた大胆な構図に目を引き付けられます。ナイフを使った油絵らしい表現は迫力があり、時間をかけた魅力的な作品です。

優秀賞の「ゆらぎを閉じ込める」は、柔らかな色調でまとめられ、特に指の表現は描写力の高さを感じます。ただ、ビンと中味の表現にももう少しこだわって描き込めば良かったと思います。

奨励賞の「斜陽」は、水面に映る夕陽が画面いっぱいに広がる光景をいろいろな色彩でキャンバスにのせて表現しました。刻々と変化する空と海を手前の自転車と猫が静かに見守るような構図になっています。

奨励賞の「威風」は、一斉に走り出した馬の躍動感が見事に表現されています。背景と全体に広がる赤に競う馬の熱気と迫力が感じられます。重なり合う足の描写を丁寧にされており、馬への愛情が感じられる作品になっています。

全体的にもう少し時間をかけたら良くなる作品が多く見受けられました。特に円柱の断面のパースをしっかりと学んでから描きましょう。

表面的な描写のみにとどまらず、時間をかけた油絵らしい表現方法、発色、技法等にもチャレンジしてみましょう。

●デザイン

本年度も、昨年度より少し増えたとはいえ、コロナ禍以前と比べると、まだまだ少ない出品数でしたが、今までとは少し違った現代的な表現の作品が見られたりと、バラエティに富んだ作品が並びました。

市展賞の「鏡花水月」は非常に完成度の高い作品ですが、レトロなモチーフが1つ1つ丁寧に描いてあるだけでなく、画面の構成に伝統的な和風建築を思わせるような形を用いたり、円の中を別の世界にしたりと、構図へのこだわりも見られ、描く力だけでなく、何より作品全体から作者自身が楽しんで考え制作していることが感じられました。

優秀賞となった「目を奪う」は、何よりもその色遣いのインパクトが強い作品です。一見何が描いてあるのか分からず、パッと目に入った目玉に気をとられ、そこから辿っていくと、色彩の中に上手に隠れているカメレオンを見つけることができます。その瞬間、今まで抽象的に見えていたものが一気に様々なモチーフとして認識され、作者の術中にはまっていたことに気付かされます。「やられた」と思って再びじっくり眺めると、あらゆる強い色彩がパレットをひっくり返したように至る所に塗ってあるようでありながら、絶妙なバランスで何とか調和を保っているようです。この本人も無自覚であるかもしれない色彩感覚を大変にして、今後表現を楽しんでもらえるとよいです。

奨励賞は現代的なモチーフの作品です。それをデジタルではなく、あえてアナログに落とし込んだところに、1人のリアルな人間としての存在として、タイトルにもある「虚構」を感じているという身体感覚が表現されているように感じました。

全体として、少し残念なのは、あと一歩の詰めの甘さが多くの作品に見られることです。デザインとして、何を伝えるのかというコンセプトを深くしっかりと見え、それを表現するための構図、表現技法にこだわって完成度を高めることに楽しさを見い出したら、より自分の世界観を表現することができると思います。

●写真

市展賞の「見つめる先に…」は、放課後の教室で夕日を浴びた人物を美しく捉えています。優秀賞の「あの道に向こうへ」は構図が素晴らしい作品です。「夏集め」はヒマワリの造形美を切り取った作品です。「ひまわり少女」は明るい表情がとても良い作品です。

全体的に写真のレベルは向上していると思いますが、その中でも作者の意図と工夫が感じられる作品を入選としました。パネルの額部分も審査の対象にしました。出品に際しては、パネルの額も含めた作品づくりをお願いします。

●書道

高校生の表現力豊かな作品が出品され、その中から入選、入賞作品を5名の先生で選出しました。作品のまとめ方が美しく、丁寧で、多様な表現を追求する姿が感じられました。入賞作品は、賞にふさわしい力作となっています。伸びやかで繊細、または重厚な筆致の楷書、流麗で運筆の妙の練度の高い行草書、細部まで呼吸を切らさず、綿々とまとめた細字かな、どの作品も高い技法でまとめられています。県内でもレベルの高い大垣市展の作品には、出品者と指導される先生方の熱意が感じられます。作品は、一般の部と同じく表装されての出品です。会期終了後も、作品を大切に飾って鑑賞ください。そして次の作品にチャレンジしてほしいです。

審査員

《絵画・彫塑工芸・デザイン》	金田 典子	鈴木 泰子	千賀 希
《写 真》	太田 晃	河村 廣吉	
《書 道》	右近 正枝	大槻 章夫	大橋 隆 豊永 裕之 安田美智代